

浜コミ協だより

平成30年度
第15号

●「浜コミ協」は「浜浦小学校区コミュニティ協議会」の略称です。●この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

森づくり事業の歩み

環境整備部会長 博幸



Cブロックの現状
(平成28年植樹)



Bブロックの現状
(平成27年植樹)



Aブロックの現状
(平成26年植樹)

新潟地震(1964年)の被災者住宅跡地に植樹した松苗(1,700本)が元気に育っています

●平成26～28年植樹

一、区民協働森づくりモデル事業



☆平成30年10月16日植樹(関屋中学校)



☆平成30年10月13日植樹(浜浦小学校)

●平成30年植樹
二年目の植樹(800本)が浜浦小学校、関屋中学校、地域の皆さんの手で行われました。



☆平成29年植樹 越冬(2月)



☆平成29年回復・再生(5月)

●平成29年植樹
新たに「海浜植物園」の植樹がスタートした年の冬は豪雪で松苗(800本)が雪に埋もれましたが、しぶとく生きかえりました。

二、区民協働森づくり事業



☆整備



☆木工クラフト



☆ネイチャーゲーム



☆テント張訓練

浜コミ協が整備を続けている松林に、平成28年からガールスカウトさんが毎年、整備に参加した後、松林を活用して頂いています。

●平成24～30年整備

三、「子供の松林」整備と活用

平成30年度 第10回浜コミ協合同演奏会 記念公演

十周年を記念して

文化スポーツ部会
部長 佐藤 敏夫



十周年を祝って、三校へ花束贈呈

第十回浜コミ協合同演奏会が、平成三十年九月二十三日(日)日本歯科大学の講堂で開催されました。当日は、三百八十名の方々のご来場をいただきました。出演者は浜浦シン

フオニー二十九名、関屋中学校吹奏楽部四十九名、日本歯科大学軽音楽部学生五名とOBの五十嵐勝教授、桑原秀也先生の計七名。出演の皆さまの素晴らしい演奏でした。厚くお礼申し上げます。



関屋中学校吹奏楽部演奏による全員での合唱風景



関屋中学校吹奏楽部による演奏風景

関屋中学校吹奏楽部の三年生は毎年この演奏会を節目に引退、受験勉強に励むようになります。部員にとっては大切なイベントです。今回演奏させていだいた「富士山」という曲は、新潟県吹奏楽コンク

ルでも演奏しており、こちらも部員にとっては大切で思い入れの深い曲でした。この大切な演奏会で大切な曲を演奏でき感慨深いです。

私は昨年の四月に関屋中学校に赴任し、吹奏楽部の顧問をさせて頂いております。はじめは非常に多くの演奏会に出演する年間のスケジュールに驚き、そして生徒たちがこなしているのか心配しておりました。しかしながらこうして無事に出演でき、また日々一生懸命練習ができていけるのは地域や保護者の皆様のお支えあってこそだと感じております。お礼申し上げます。

地域の子どもたちが安心して活動に取り組み、発表できる大切な機会である浜コミ協合同演奏会が今後も成功されますことをお祈り申し上げます。

了後に、浜浦小学校から「来年は器楽部も入れてほしい。」との話ができました。そこで浜コミ協のメイン事業とし、開催場所を日本歯科大学講堂の借用はどうかとお願したところ快諾され、そのうえ日本歯科大学軽音楽部や、OBの五十嵐勝教授、桑原秀也先生が出演される事となりました。それ以来浜コミ協のメイン事業として「浜コミ協合同演奏会」を行う事となりました。

これからも、地域の皆さまのご支援で、続けて行きたいと思っております。

地域の「一員としての十年間

日本歯科大学
教授 五十嵐 勝

光陰矢の如しで、あっという間に十年の年月が経ちました。本学で合同演奏会が開催される以前は、信濃町公園で関屋中学校吹奏楽部の演奏会がありました。それが十年前の平成二十一年から本学で合同演奏会となりました。



五十嵐教授(右)と桑原先生(左)の演奏風景

合同演奏会 十周年を記念して

浜浦シンフォニー器楽部
顧問 鳥谷 理恵子

さわやかな秋晴れの中、浜コミ協合同演奏会十周年という記念すべき年に地域クラブ「浜浦シンフォニー」の顧問として参加できたことを大変嬉しく思います。

浜浦小学校、関屋小学校、有明台小学校の子供たちを対象とした地域クラブに移行して四年めを迎えました。

子供たちが初めて音楽に携わるきっかけに少しでもなれたらいいな!と思いきしく練習しています。

ピアノで好きな曲が弾きたい。楽器を弾けたらいいな。友だちとクラブ活動を通して友達関係を築きたいなど、子供たちの夢や目標は様々です。お家にピアノがなくても音



浜浦シンフォニー器楽部による演奏風景

普段交流のない小学生、中学生、大学生が一堂に会しての演奏会開催には、最初の計画書作りが重要です。綿密な計画作成と、その後の演奏会出演に協力してくれた桑原秀也先生に深く感謝いたします。

当時の児童、生徒の皆さんは、十年を経て立派な社会人になっていることでしょう。初回開催時の学生も歯科医師となり、医療の場で活躍しています。この十年間に多くの思い出を残した素晴らしい企画でした。

昭和四十七年に本学が浜浦町に開設以来、四十六年が経ちました。この演奏会は地域の方と一体となって行うもので、地域交流の一つとして大切なものと認識しています。浜浦地区の一員として、今後とも末永く宜しくお願い致します。



軽音楽部の学生による演奏風景

大切な発表の場

関屋中学校 吹奏楽部
顧問 上野 歩美

第十回という記念すべき回にお招き下さいます。ありがとうございます。部員一同本心にうれしく思っております。

符やリズムが分からなくても楽しく演奏できる、そんな場所が「浜浦シンフォニー」です。

浜コミ協の皆さまの念入りの事前準備があつてこそ、子供たちが当日気持ちよく演奏できるのだと思います。この素晴らしい浜コミ協合同演奏会が十五年、二十年とこれからも続くよう、浜浦シンフォニーも地域の一員となって貢献していきたいと思っております。

楽しかった第十回

浜浦シンフォニー器楽部
部長 戸田 真由佳

平成三十年の浜浦シンフォニーは、浜浦小学校と関屋小学校の生徒合わせて二十八名で活動しました。

今回の演奏会では、「笑点」「リバーダンス」等全四曲を演奏しました。週に二回という少ない練習時間の中で四曲を仕上げるのはとても大変でしたが、当日会場での演奏は普段の練習より上手に弾くことができました。特に、「sing・sing・sing」の演奏の時に会場の皆さまが手拍子で盛り上げて下さったので、リズムに乗って楽しく演奏することができました。

最後になりましたが、記念すべき第十回浜コミ協合同演奏会に参加させていただきありがとうございます。今後も楽しい曲を演奏できるよう、がんばります。

浜コミ協の さらなる発展を願って



浜浦小学校区
コミュニティ協議会
(略称・浜コミ協)
会長 田村 良三

何も分らずに会長として過ごした二年でした。中央区自治協議会の委員も兼ねて、市政に関しての知識を得るとともに、市の行政体制なども学びつつ、浜コミ協は何をすべきなのか、何が出来るのかを自問自答する日々でした。

今でも明確な結論は得ておりませんが、委員の皆さんや先輩諸氏の意見などから、一定の方向性は得られた気がします。

浜コミ協の目的は、会則の第一章「この会は、浜浦小学校区の地域の人々が、コミュニティ活動を通じて、共に助け合い、安全で安心な住み良い、活力ある地域社会をつくり、これを維持向上することを目的とする。」と表現された一文にたどりつきました。私たち浜コミ協の委員は、この目的に向かって、どのような活動ができるかを協議し、実行する組織となることを目的としてまいります。

社会の変遷とともに「介護保険制度」や「地域防災」「地域の見守り」など、種々の活動が地域社会に求められています。それらを担当し活動する団体・組織も存在しますが、それらの方々とも密なる連携をとり、より良い浜浦地域にしていきたいと思

います。
平成三十年度の活動実績を以下に報告いたします。

平成30年度活動報告

平成30年度事業実績

担当部会	実施事業
環境・整備部会 家坂部会長	地域の自然環境整備・清掃 1.「子供の松林」整備(草刈り)と活用 2.海浜植物園植樹(区民協働森づくり)
福祉・教育部会 平間部会長	事業支援(助成金) 1.浜小見守りたい 2.浜小教育コーディネーター 3.赤ちゃんお誕生おめでとう 4.お寺でゴーン 5.包括支援センターによる講演
文化・スポーツ部会 佐藤部会長	1.合同演奏会開催(第10回) 2.フロアカーリング大会開催(第8回)
防災部会 (防犯・防火) 濱田部会長	1.婦人防火研修会 2.消防署の防災体験 3.防火グッズ用品申し込みと配布
総務部会 塩野部会長	1.総会、定例会 2.区長ミーティング 3.広報誌発行(第15号)

平成30年度収支予算書(決算:平成31年3月)

項目		金額[円]	
収入	市助成金	1,200,000	
	自己資金	会費	160,000
		古紙収集支援金	130,000
		その他	137,010
		前年度繰越金	896,732
合計	2,523,742		
支出	市助成金	合同演奏会	270,000
		広報誌	220,000
		フロアカーリング	190,000
		安全マップ	110,000
		運営費	410,000
	小計	1,200,000	
	自己資金	文化スポーツ部会	20,000
		福祉教育部会	35,000
		防災部会	10,200
		総務部会	10,000
共通		294,000	
小計	369,200		
合計	1,569,200		
次年度繰越金	954,542		

平成30年度組織図



忘れたころにやってくる！

防災部会
部会長 濱田 芳男



新潟地震を忘れるな！

地震で発火、黒煙を上げて燃える昭和石油新潟
精油所と無残にも信濃川に落ちた昭和大桥
(2002年9月12日)

三十年度前半は、ミサイルの飛翔の心配がなくなり、ほっとしました。が、猛暑で身体が不調の日々が続きました。自然環境の変化が激しく一か月に台風が九個発生するようになり災害対策が益々重要になってきました。

過日も避難所研修が実施されましたが、自治体からの避難命令が発令されても「知らなかった」「まだ大丈夫」と云うことなく、たとえ空振りでも避難するように致しました。常日頃から天気予報を注視し準備することが大切であります。新潟市等の自治体が単独で対応することは不可能です。災害発生から行政の救助は三日間程度要すると言われております。その間は自己努力が要求されます。浜浦地区は十五自治会中六自治会が自主防災組織を結成し、情報伝達、初期消火等の訓練を行っています。但し、課題は若手の参加が少ないこと、要援護者、高齢者の救出を如何にするか等々沢山課題があります。訓練だけでなく日常から隣人同志の助け合いが大切と思われれます。災害時には自分の命は自分で守ることを心得、的確な情報をいち早く確認し早期に避難することが大切であります。

区長ミーティング報告

総務部会
部会長 塩野 健一郎

平成三十年十一月二十八日関屋地区公民館集会所にて、中央区長ミーティングを実施しました。中央区長の渡辺東一区長、地域課の田辺課長を始め五名の出席を頂きました。

まず、区長より「区がコミュニティ協議会に求めるもの」というテーマで講話を頂きました。目標に向かい、各自治会より提出されたアンケート結果を分析し、課題解決に独自で取り組んで欲しい。また当地域の二大事業は素晴らしいとの事でした。

- 次に意見交換に入りました。
- 一、十年経過したら創立当初の熱意がなくなり活動がマンネリ化している。
 - 二、地域活動をしている中で、自治会の会長、役員の成り手がいない。自治会の消滅も考えられる。
 - 三、若手の役員を育てるための仕掛け作り（お祭り等）を行える様行政から指導、助言してもらいたい。
 - 四、自治会に大小があり問題の共有が困難である。自治会の統合、分割を考へても良いのではないか。
 - 五、自治会同士の情報が不足している。



渡辺東一区長(白板手前左)との意見交換

六、自治会に回覧物が多い、自治会を行政の下請けにして欲しくない。以下は市からの回答です。浜コミ協の悩みは先進的な悩み。十年経つてマンネリ化しているのかもしれない。残念ながら諸問題に一発回答はない。まず自治会で悩んで貰いたい。その後浜コミ協と一緒に取り組みたい。回覧物は極力軽減したい。以上でした。

出席者より多くの意見を頂き、大変有意義な会となりました。

浜浦小学校区 危険箇所総点検報告

浜浦小学校 校長 政谷 英樹
浜コミ協 会長 田村 良三

新潟市西区での痛ましい事件を受け、小学生の通学時の見守り体制の強化とともに、危険箇所の総点検が必要となりました。

そこで浜浦小学校では夏休み中に児童と保護者が学校までの通学路を一緒に歩き、危険と思われる箇所を確認する調査を保護者に依頼しました。

その結果、多くの危険箇所が指摘され、それらの調査結果を受けて、警察署や新潟市、育成会、各町内会会長などによる合同の通学路の危険箇所総点検が実施されました。

点検は校区内を4班に分けて、指摘された危険箇所を確認するとともに新たな危険箇所の抽出を行い、確認された危険箇所は写真に収めて持ち帰り、報告会で参加者全員による再確認と意見交換が行われました。

危険箇所として指摘された

所はブロック塀が多く、中には崩れたままで放置されているものや、ひび割れや傾きが認められる塀もありました。また廃屋で朽ちたひさしが歩道上にせり出している場所

や、照明がなく危険を感じるガード下、下り坂で歩道を横切り公道に出る場所に「止まれ」などの道路表示が無いところなども多く指摘されました。いくつかの危険箇所を下の写真に示します。

これらの調査結果を踏まえて、児童に注意喚起を促すとともに、以前に作成された校区内の「安心・安全マップ」を更新し、校区内の皆さんに周知させることとなりました。

現在、ボランティアによる「見まもり隊」が結成され、児童の登下校時の見守りを行っているのですが、安心・安全な地域社会の構築に向け、さらなる皆さまのご協力をお願いいたします。



危険箇所総点検風景



危険箇所総点検会議



総点検結果報告会



崩れたままのブロック塀



新しくなった安心安全マップ



朽ちた廃屋のひさし



表示のない坂道車道出口



照明の暗いガード下



傾きのあるブロック塀

浜浦小学校 地域教育コーディネーターの紹介

地域教育コーディネーター

佐藤 愛子
小林 裕子
筒井 佐都子

新潟市では学校と地域の皆さまが力を合わせて子どもたちを育てていこうという「地域と学校パートナーシップ事業」を行ってまいります。浜浦小学校でも平成21年度から参加し、10年目を迎えました。

私たち浜浦小学校地域教育コーディネーターは、子どもたちがより良い環境で教育を受けられるように、ボランティアとして授業や行事をサポートしてくださる地域の方々や学校の橋渡しをすることを主な仕事としてしています。おかげさまで昨年度の学校支援ボランティアの方々には延べ194名に昇り、ご協力に感謝しております。

また、関屋地区の映像研究会の皆さまと「映像でみる関屋の歴史」のお話を伺う会を開催して、関屋という地域性を生かした学びの拠点化に取り組み、地域の

方々や保護者とともに子どもたちが笑顔で学校生活を送れるお手伝いをこれからも続けていきたいと思っています。

学校がより一層地域に開かれ、地域とともに歩む教育を進めることができるよう私たち地域教育コーディネーターも裏方として活動を続けたいと思います。今後とも地域の方々にはご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ハマナス祭PR館での子ども達

耳よりな話 シリーズ その6

旧新潟競馬場跡の碑 「関分公園」

いつも丹精に育てられた花々と長い年月を生き延びてきた松。四季折々、街行く人たちの心を和ませる公園です。

一角には「新潟競馬場跡」の石碑が建てられ、その歴史が語られています。それによると、信濃川治水の一環として関屋分水（信濃川の一部を海に放流）が計画され、競馬場の跡地がその地域600余戸の移転先となりました。



関分公園内に建てられた石碑(中央)

1964年12月28日の競馬を最後に住宅地に転生したと記されています。現在の信濃町、文京町の誕生です。

朝方は周辺の幼稚園生の遊び場に、夕方近くになると小学生達が三角野球やサッカーをする元気な声が聞こえてきます。

夏は周辺地域のラジオ体操やお楽しみ会など地域の方々に愛されている手作りの公園です。



手入れが素晴らしい関分公園

環境整備部会
部会長 家坂 博幸

編集後記

編集長
塩野 健一郎

本誌の編集方針は、市からの補助金を受けている「協働推進事業」の報告と、浜コミ協の特徴を活かし新内容を盛り込もうというものです。

本15号も無事に発行することができました。「浜コミ協合同演奏会」が、10周年となりその記念号としました。また、マンネリ化防止のため新企画等紙面の刷新に努めました。発行にあたり、多くの皆さまより原稿を頂きました。また、事務局長三添様のお力添えも頂きました。皆さまに厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

今後も浜コミ協の二大事業である「浜コミ協合同演奏会」及び「地域の自然環境整備・清掃事業」等々を工夫しつつお伝えして行こうと思っています。

まだ寒い冬です。ご白愛の程お過ごし下さい。

「耳寄りな話」原稿募集!!

事務局三添(三)宛(TEL)025-234-5600(まで)

浜コミ協主催・「包括支援センター」研修会 演題「困りごとが起きた時の対応」について

福祉・教育部会
部会長 平間 四季子

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3専門職が
お互いに連携協力し、「チーム」として皆さんを支えます。

主任ケアマネージャー

社会福祉士

保健師・看護師

「新潟市地域包括支援センター関屋・白新」

〒951-8142新潟市中央区関屋大川前1-2-36

☎025 (231) 5659

【受付時間】月～金8:30～17:30 土日祝休み
尚、緊急の場合は上記以外の時間でも電話対応致します。



講師・社会福祉士 笹岡優奈様(右)



講師との活発な質疑応答の様子

平成三十年十月二十四日、
地域包括支援センターの社会
福祉士、笹岡優奈さんを講師
にお迎えし、研修会を開催し
ました。「困りごとが起きた
時の対応」についてのいろいろ
具体的な事例を挙げて、ご
紹介を頂きました。

★ 介護保険ってどうい
うときに使えるの？どうす
れば使えるの？

★ 身近な認知症の人と
どう接すればいいの？

★ 訪問販売の人からいら
ないものを買ってしまったけ
どうしよう？…などなど

皆さんのまわりで、こんな
心配事、お困り事が起きた時
にまず相談の窓口となり、保
健師、社会福祉士、主任マ
ネージャーの3専門職が協
力・連携して、「チーム」と
して総合的に皆さんを支え
てくれます。

とにかく、お困りごとが
あったら、包括支援セン
ターにまずご相談ください。

祝・「浜とも」十五周年

浜浦小学校 運営主任 佐藤 順子

「浜とも」は「浜浦ともだち
ひろば」の略称です。「浜とも」
は新潟市の「ふれあいスクール事
業」として開設されました。

「浜とも」の概要は次の通りで
す。スタッフは総勢二十五名で、
内訳は保護者が三名、地域の方が
二十二名です。開催は月曜日と水
曜日は放課後に、土曜日は午前中
です。

スタッフは安心・安全を第一
に、見守り時には、遊び相手に
なったり、時には親でも先生でも
ない立場で叱ったりしながら、子
供たちと楽しく時間を過ごしてい
ます。

「浜とも」は昨年（平成三十
年）、十五周年を迎えました。
十一月七日に参加児童とスタッ
フの総勢百十四名でお祝いの「浜
リンピック2018」を盛大に行い
ました。下の写真に示すように、
全員で楽しい時間を過ごすことが
出来ました。

「浜とも」の今後の問題は、ス
タッフの平均年齢が高くなってい
くことと、スタッフを担当して頂

ける方が減ることです。

これを防ぐために、若い方の積
極的な参加をお願いします。

これからも、子どもたちに喜ん
でもらえる「浜とも」であること
を願って、スタッフ全員で頑張っ
ていきたいと思えます。

「浜リンピック2018」

● 浜とも十五周年記念事業 ●



浜リンピック選手団とスタッフ

浜リンピック正式種目「カプラタワー」

浜コミ協主催・「包括支援センター」研修会 演題「困りごとが起きた時の対応」について

福祉・教育部会
部会長 平間 四季子

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3専門職が
お互いに連携協力し、「チーム」として皆さんを支えます。

主任ケアマネージャー

社会福祉士

保健師・看護師

「新潟市地域包括支援センター関屋・白新」

〒951-8142新潟市中央区関屋大川前1-2-36

☎025 (231) 5659

【受付時間】月～金8:30～17:30 土日祝休み
尚、緊急の場合は上記以外の時間でも電話対応致します。



講師・社会福祉士 笹岡優奈様(右)



講師との活発な質疑応答の様子

平成三十年十月二十四日、
地域包括支援センターの社会
福祉士、笹岡優奈さんを講師
にお迎えし、研修会を開催し
ました。「困りごとが起きた
時の対応」についてのいろいろ
具体的な事例を挙げて、ご
紹介を頂きました。

★ 介護保険ってどうい
うときに使えるの？どうす
れば使えるの？

★ 身近な認知症の人と
どう接すればいいの？

★ 訪問販売の人からいら
ないものを買ってしまったけ
どうしよう？…などなど

皆さんのまわりで、こんな
心配事、お困り事が起きた時
にまず相談の窓口となり、保
健師、社会福祉士、主任マ
ネージャーの3専門職が協
力・連携して、「チーム」と
して総合的に皆さんを支え
てくれます。

とにかく、お困りごとが
あったら、包括支援セン
ターにまずご相談ください。

祝・「浜とも」十五周年

浜浦小学校 運営主任 佐藤 順子

「浜とも」は「浜浦ともだち
ひろば」の略称です。「浜とも」
は新潟市の「ふれあいスクール事
業」として開設されました。

「浜とも」の概要は次の通りで
す。スタッフは総勢二十五名で、
内訳は保護者が三名、地域の方が
二十二名です。開催は月曜日と水
曜日は放課後に、土曜日は午前中
です。

スタッフは安心・安全を第一
に、見守り時には、遊び相手に
なったり、時には親でも先生でも
ない立場で叱ったりしながら、子
供たちと楽しく時間を過ごしてい
ます。

「浜とも」は昨年（平成三十
年）、十五周年を迎えました。
十一月七日に参加児童とスタッ
フの総勢百十四名でお祝いの「浜リ
ンピック2018」を盛大に行い
ました。下の写真に示すように、
全員で楽しい時間を過ごすことが
出来ました。

「浜とも」の今後の問題は、ス
タッフの平均年齢が高くなってい
くことと、スタッフを担当して頂

ける方が減ることです。

これを防ぐために、若い方の積
極的な参加をお願いします。

これからも、子どもたちに喜ん
でもらえる「浜とも」であること
を願って、スタッフ全員で頑張っ
ていきたいと思えます。

「浜リンピック2018」

● 浜とも十五周年記念事業 ●



浜リンピック選手団とスタッフ

浜リンピック正式種目「カプラタワー」